



KEY BORD の


機能を知ってもっと使いこなそう(2)

Alt, Esc, Shift について

Alt

ALT(オルト)の機能と使い方

主としてメニューの呼び出しに使います。Ctrl やその他のキーと組み合わせて使用することが多いのですが、単独で使う場合があります。それがメニューの呼び出しです。

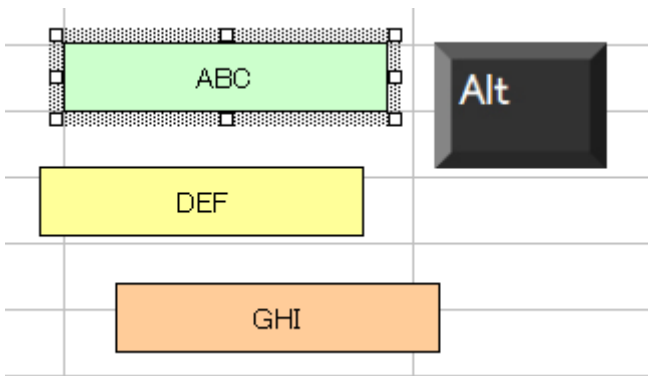
■ **応用1: ALT+スペース** **KEY** でウィンドウメニューを呼び出す  これと同じ機能があ



ります。良く使う機能ですがマウスで選ぶより出たメニューを矢印 Key で操作する方が早くて楽です。

左のような画面が左上に出ますので、矢印 Key で最小化、最大化、閉じるのいずれかを選択してください

■ **応用2: EXCEL でオートシェイプを使う場合の位置あわせ**

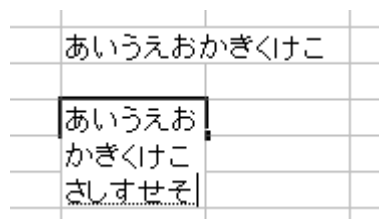


左図のように EXCEL でオートシェイプを使用して図形を作成する場合、セルに合わせてキチット図を並べる場合、ALT Key を押しながら選択した図を移動すると整列が可能です。

■ **応用3: EXCEL のセルの中での改行**

AltとEnterの組み合わせでセルの中で任意の改行が簡単に出来ます。

普通なら右の図のように、右クリックのショートカットメニューよりセルの書式設定の配置画面で折り返して全体を表示するにチェックを入れてから実行しますが、これは面倒ですね！



ESC

ESC(エスケープ)の使い方 文字通り **Escape**(逃げる)の略です。

例えば、文字入力の途中で**入力を間違った場合それを修正**するには、ESCのKeyを一発で完了です。
 例えば EXCEL の場合 Alt,T,P の順に Key を押してゆくと、メニューの選択がひとつ前に戻すことができます。
 このほかに Ctrlと組み合わせて使うと Windows Keyと同じ機能があります。 ←WindowsKey



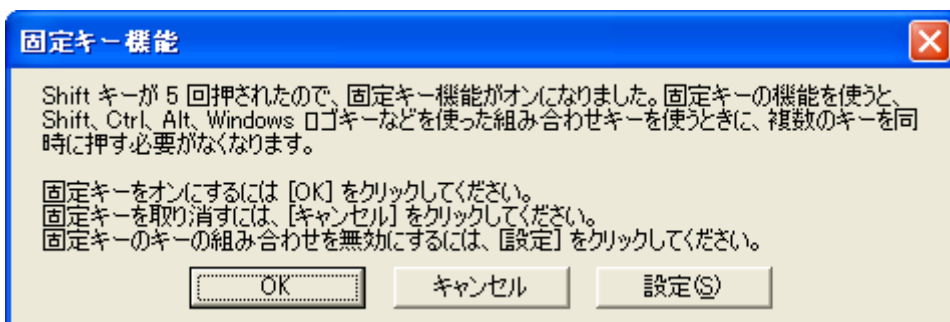
あまり使わないのですが、マウスでスタート⇒でメニューの選択を再びマウスで選択するといった手順が多いのですが、この手順で矢印 Key を使うと簡単です。

shift ↑

SHIT(シフト)の使い方

日常良く使うのは、KeyのKeyの上段と下段の機能の切り替えに良く使われます。

これはご存知のように、感嘆符 **!** を打つ場合には**1**のKeyを押すときに同時に Shift を使用しています。

■ **応用:1 ShiftKey を5回連続して押すと固定キーの機能が使える。**

この機能はあまり知られていないと思いますが、使ってみると便利かもしれません

■ **応用2:オートシェイプと組み合わせて使い位置あわせを行う。**

Word や EXCEL でオートシェイプの機能を使用する場合、

① 直線を書く場合、Shift を押しながら書くと水平にかける

②円を書く場合、Shift を押しながら描くと真円が描ける



delete

Delate (Del) デリート

このKeyは良く使います。したがってご存知のようにこのKeyを押すごとにカーソルの後の文字を1字ずつ削除します。それ以外には、選択した部分を削除します。

■ **応用1:タスクマネージャーの起動**

Ctrl+alt+delete の組み合わせ使用でタスクマネージャーの起動が出来る

(過去の会合 2009年2月でフリーズ対策の項で解説済み)

以下、次号